

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	人事委員会事務局	氏名	小松原 茂雄
派遣先 団体名	NPO法人 プロジェクトゆうあい		
<p>① 研修の日時・内容</p> <p><b>【天神古本市】</b>:7月24日(金)15:00~21:00、7月25日(土)15:00~21:30  地域おこしの一環として実施したイベント「天神古本市」(会場:旧ごうぎん本館)において、スタッフとして会場の設営・撤収、古本の販売業務等を行った。</p> <p><b>【障がい児あずかり】</b>:8月11日(火)、8月17日(月)、8月28日(金)各日9:00~17:00  「放課後等デイサービス」の認可事業所として法人が行う基幹事業で、夏休みの日中、通所してくる障がい児(小学校低学年~高校1年生まで様々)への療育活動を行った。</p> <p><b>【バリアフリーシンポジウム資料作成】</b>:10月1日(木)14:00~17:00、10月7日(水)9:30~14:00  10月14日(水)13:30~17:00  観光バリアフリーの啓発を目的に法人が企画するシンポジウム(H28.1開催)について、チラシ作成やデータ収集、関係機関協議への参加等を行った。</p> <p><b>【ブックカフェ】</b>:11月25日(水)9:00~17:00  STICビル内の遊休施設において、古本屋とカフェが融合したサービスを試行的に実施し、店舗スタッフとして接客等に従事した。</p> <p><b>【共創・協働マーケット】</b>:12月16日(水)9:00~17:00  松江市と松江NPOネットワークが共催するイベントにおいて、法人メンバーとして空き家対策のワークショップに参加したり、商談会スペースでのカフェ運営に従事した。</p>			
<p>② 研修の感想</p> <p>今回お世話になった「プロジェクトゆうあい」は、障がい福祉や、地域振興、まちづくり等の分野で幅広く事業展開しておられ、自分自身も実に様々な活動を経験させてもらった。</p> <p>障がい児あずかりでは、少ない日数ながら、障がいのある子どもたちと実際に接するうえでの苦労や喜びを共有することができた。以前に障がい福祉課(当時は障害者福祉課)に所属していた際、行政の立場で事業者とやりとりすることはあったが、実際に現場で何が行われているのかについての理解が不足しており、ともすれば行政本位の思考に陥ることもあった。今回の経験を通じ、現場で何が問題なのか、事業者が行政に何を求めているのか、考えるうえでのヒントを得ることができたように思う。</p> <p>また、法人が行う様々な地域づくりの取組みに参加できたこともよい経験となった。特に、最終日の「共創・協働マーケット」は、地域の諸問題に対する行政と民間の協力した取組みを後押しするものであり、本研修の意義を象徴するようなこうした取組みで締めくくれたことは、大変印象深かった。行政においては人員も予算も先細りする中、民間の活力をいかに活用していくかということは、今後どのような業務に従事するにせよ、意識しておくべき重要な事柄であると感じた。</p>			
<p>③ その他特記事項</p>			

# 2015・12 松江 共創・協働マーケット

～NPO・市民団体・地域団体・企業・行政・公的機関の交流・商談会～

松江市では、人口減少を克服する「地方創生」を大きな市民運動として取り組むたいと考えています。このような中、NPO・市民団体・公民館や町内会・企業等の運営、経営に携わる方・松江市をはじめとした行政機関（県、国も予定）・公的機関（財団等）の職員が、それぞれの取り組み分野の話をタネに、自由に、フランクに話し合うことができる場＝交流・商談会＝マーケットを開きます。

平成27年12月16日(水) 10:00～16:00  
松江市市民活動センター(STIC)

## 第1部 空き家の再生・活用を考えるワークショップ

5階 10:00～12:00

空き家、空き店舗は全国的な問題となっていますが、松江においてもその数は年々増え続けています。この問題を取り上げ、これらがうまく流通するための方策、建物改修や維持管理の仕組み、物件と人をコーディネートする方法などについて、官民それぞれにできること、協働によってできることは何かをワークショップ形式で議論します。

※事前に参加の申し込みをお願いします

〔募集〕50人 ※先着 〔参加費〕— 無料

## 第2部 共創・協働マーケット

1階、2階、5階 13:00～16:00

前回の2015年2月開催時には、民間からは38団体、市役所から16課が参加し、様々なアイデアが持ち寄られました。今回は、民間向けの様々な助成事業の紹介コーナーも設ける予定です。民間と地域と行政が力を合わせることで新たな発想が生まれ、事業を通じて地域づくりに活かされることが期待されます。



前回のマーケットの様子



〔募集〕共創・協働を提案したい団体・法人

募集枠—50程度の団体・法人 参加費(出店料)— 無料

募集締め切り—平成27年11月24日(火)

〔主催〕松江市(共創のまちづくり推進本部) 松江NPOネットワーク

共創・協働マーケット企画運営委員会(松江NPOネットワーク、松江市公民館長会、松江市市民活動センター運営委員会、松江市社会福祉協議会、松江市)

〔共催〕松江市町内会・自治会連合会、企業ボランティア松江ネットワーク会議、まつえ市民大学運営協議会ほか

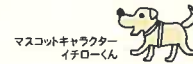
一緒に取り組む事業の  
きっかけになる!



# ゆうあいレポート

このまちに希望の種をまいていく

第13号



2015年10月発行

私たちは、障がい者、健常者のへだてのない、誰もが自立して豊かに暮らすことができる新しい社会の仕組みづくりに取り組んでいます

## 旧合銀本店がホンモノの本店に！ 白潟本町がまさに本の街に！ ～白潟納涼祭 2015 で白潟のまちを盛り上げました～



白潟本町の旧ごうぎん本店ビルのホールをお借りして、7月24日、25日の2日間にわたって、「しらかた古本祭り」を開催。白潟納涼祭にあわせての開催のため、たくさんの人に来ていただくことができました。本の売れ行きもまずまずでしたが、なによりも、昨年11月より閉まっていた、ごうぎん旧本店の重い扉が開き、素敵なお雰囲気このホールを活用することができたことは、とても重要な意味があったと思います。プロジェクトゆうあいは、創業が白潟本町の出雲ビル。昨年にはこの通り沿いに古本屋の本町堂を開いています。これからもさまざまなかたちで、白潟本町のまちの活性化に携わっていきたくと考えています。

